

読書ボランティア紹介

おはなしバスケット

子ども読書推進のために

おはなしバスケット (伊達市)

平成30年12月22日(土) 訪問

登録人数

13名 (H30.12月現在)

創設年月

平成11年

活動場所

伊達市立図書館、伊達東小学校

活動内容

読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び
工作



平成11年に伊達町立図書館が開館した時から、活動している読書ボランティア団体です。平成18年に5町が合併し、伊達市立図書館として開館後も年6回、偶数月の第4土曜日にテーマを決めて「おはなしかい」を開催しています。読み聞かせで使用する絵本の選書や、工作などのプログラム企画を行っています。図書館職員と役割分担をしながら、連携をして実践しています。また、伊達東小学校では、年6回、昼休みが終わってからの時間「東っこタイム」を使い、読み聞かせ活動を行っています。

活動の実際

訪問当日は、幼児～小学生、また、その保護者を対象とした「たのしいおはなしとこどもえいが会」でした。市立図書館の2階映像研修室と1階フロアを会場にして行われました。

会が始まる時間になると、多くの親子が集まり、参加者は55人に上りました。会が始まるのを心待ちにしてそわそわしていた子どもたちも、紙芝居風の映画が始まると、集中して映画鑑賞を楽しんでいました。前半に行われた映画や読み聞かせは、1時間の内容でした。映画の間に「読み聞かせ」や「手遊び」が組み込まれているので、子どもたちは飽きることなく楽しく参加していました。

後半は、親子で作る紙工作「クリスマスリース作り」です。リースの土台は、紙皿の中心部をくり貫いたものであり、紙テープや折り紙で飾り付けができるように用意されていました。簡単に作成できるので、幼児も楽しそうに活動していました。読書ボランティアと図書館職員が、連携して開催しているイベントを訪問することができました。

